

## 昇格差別の報告も 女性協第31回定期大会開く

女性協議会第31回定期大会が東京・全労連会館で10月16日に開かれた。一日だけの日程であり、事前に議案書が回らない単組もある中での大会だったが、七地区二四単組一支部連、本部あわせて三二二人が参加し、結果的には「顔が見える」有意義な大会となった。

議長に文化放送の加藤好美さんを選出後、秋沢労働委員長が、放送局が現在抱えている問題と、果たすべきその社会的責任について述べた。

その後、現・常任委員から課題別方針と共に、自民

党が提案している改憲案の問題点と、「ジェンダーフリー」の誤解などに起因する本職な動きについても提起された。この項については次号以降に掲載。

各地連の報告では、社員が減少して派遣が増えることによって、会社

そのものも変わりつつあるということや、法制度ができて根強い「男性中心社会」の中での出遅れ、意見、法律違反でもある果主義の下に復活しようとする



女性協HPについてデータ化の説明も

さえしていることに対して、反対していくことを確認した。そのほかエイナツタの田中さんから、解決されない状況報告もなされた。いずれも、女性の問題、当人の問題とされがちだが、断じてそうではない本質を見極め、また自分自身も誇りをもって働けるようにしなければならぬということを確認した。同時に、問題解決のためには、リアルタイムの現状把握と、相談の場が必要であると考え、開設した女性協HPについて、諸制度のデータ化に向けての説明も行われた。

全員の拍手によって議案は決議され、来年度九州で開催される「女性の集い」で再会することを誓い、閉会となった。